

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
平成29年度における業務の実績に関する評価結果

平成30年11月

山形県・酒田市

目 次

1	評価対象法人の概要	2
2	評価の実施根拠法	2
3	評価の対象	2
4	評価の趣旨	3
5	評価方法の概要	
	（1）評価基準	3
	（2）評価の手法	3
6	評価結果	
	（1）総合的な評定	4
	（2）中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報	5
	（3）年度計画の各項目ごとの評定	
	第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する 目標を達成するためとるべき措置	5
	第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	6
	第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	7
	第4 短期借入金の限度額	7
	第5 剰余金の使途	8
	第6 料金に関する事項	8
	第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	9
	（4）業務運営の改善その他の措置の必要性	9
	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成29年度業務実績に関する評価基準	10
	参考資料 平成29年度実績に関する評価（項目別評価シート）	11

1 評価対象法人の概要

- (1) 法人名等
- | | |
|-----|---------------------|
| 名 称 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 |
| 代 表 | 理事長 栗谷 義樹 |
| 住 所 | 山形県酒田市あきほ町30番地 |
- (2) 設立年月日 平成20年4月1日
- (3) 設立団体 山形県及び酒田市
- (4) 資本金の額 159億3582万7678円（平成29年9月22日変更登記時）
- (5) 中期目標の期間 平成28年度から平成31年度（4年間）
- (6) 目的及び業務

ア 目的

地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療を提供し、及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

イ 業務

- ① 医療の提供に関すること。
- ② 医療に関する調査及び研究に関すること。
- ③ 医療に関する技術者の研修に関すること。
- ④ 医療に関する地域への支援に関すること。
- ⑤ 災害時における医療救護に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

2 評価の実施根拠法

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項

3 評価の対象

平成29年度における地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の年度計画に対する実績の状況

※年度計画・・・中期計画に基づき、当該年度における業務運営に関する計画を定めたもの

4 評価の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（以下「病院機構」という。）が、庄内地域の中核病院である日本海総合病院及び日本海総合病院酒田医療センターを運営するにあたり、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上及び業務運営の効率化等について自主的、継続的な見直し及び改善を促すことを目的に、設立団体である山形県及び酒田市が業務の実績評価を行う。

5 評価方法の概要

(1) 評価基準

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成29年度業務実績に関する評価基準。（別紙のとおり）

(2) 評価の手法

病院機構の自己評価結果及びこれに対する地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会の参考意見を聴取し、これらを基に評価する。

【評価委員会】

委員名	氏名	役職等
委員長	嘉山孝正 (当日欠席)	山形大学医学部参与 山形大学医学部先進がん医学講座 特任教授
副委員長	八重樫伸生	東北大学副学長 東北大学病院病院長
委員	堀千秋	酒田市地域包括支援センターほくぶセンター長
委員	佐藤正一	日本公認会計士協会山形県会
委員	齋藤好正	山形県医師会（酒田地区医師会十全堂顧問）
委員	吉川哲央 (当日欠席)	酒田商工会議所副会頭 (東北東ソー化学株式会社 代表取締役社長)

(敬称略：順不同)

6 評価結果

(1) 総合的な評定

山形県及び酒田市は、病院機構から提出された、平成29年度計画に係る事業報告書及び評価基準により自己評定した結果について、適正な評価であると認め、総合的には「非常に優れている」ものとして評価する。

平成29年度は、病院機構設立後10年度目、第3期中期目標期間の2年度目にあたる。

日本海総合病院については、救命救急センターや地域医療支援病院などの指定を受ける地域の中核病院として、専門医の配置と、デジタル一般撮影システム、手術部門システム及びデジタルマンモグラフィシステムなどの高度医療機器の更新・整備により、安全で高度かつ専門的な急性期医療の提供がなされている。酒田医療センターについては、理学療法士等の増員により、休日を含めたりハビリテーション提供体制が充実され、地域ニーズに応じた回復期・慢性期医療の提供がなされている。

また、ICTネットワークの活用など地域の医療機関をはじめ、保健、福祉、介護の各機関との連携が図られ、効果的な業務運営が行われている。さらに、職員配置、就労環境の整備においては、医事クラーク、看護補助者及び認定看護師等の適所配置、院内保育所の24時間保育、病児・病後児保育の継続及び病棟看護師の負担軽減を目的とする二交代制勤務の追加導入など、スタッフの確保と業務負担軽減への取り組みを積極的に行われている。特に、医療人材の確保・育成については、臨床研修医、レジデント、スチューデントドクター及び地域医療実習生を受け入れ、医師育成と医学生の教育に努めている。

財務内容については、日本海総合病院では、入院収益において病院機能評価認定取得による診療報酬加算措置等により患者1人当たりの診療単価が上昇したことや、外来収益でも歯科医師を増員し患者の受け入れ体制を整えたこと等による延外来患者数の増により増収となり、28年度を上回る9億42百万円の黒字を確保している。一方、酒田医療センターでは、理学療法士等の職員増による提供リハビリ単位数の増加により等により入院収益が改善されている。病院機構全体としては、設立初年度から10年間連続して黒字決算を計上し、中期計画の目標である経常収支比率100%以上が引き続き達成され、効率的な運営が行われている。

以上、平成29年度計画における業務の実績は、引き続き良好であり、病院機構の業務運営に対する努力について、設立団体として非常に高く評価するものである。

評価した項目数

総項目数

93項目 【評価 S：5、A：31、B：57】

(2) 中期目標期間における財務情報及び人員に関する情報

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
総収益（百万円）	20,003	21,322	—	—
総費用（百万円）	19,417	20,515	—	—
純利益（百万円）	587	808	—	—
常勤職員数（人）	1,040	1,061	—	—

(3) 年度計画の各項目ごとの評定

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理由

2病院の医療機能の分担により効率的かつ効果的な業務運営を図るとともに、庄内地域の中核病院として地域医療水準の向上に努めている。

ウ 評価した項目

① 項目数

68項目 【評価 S：3、A：25、B：40】

② 特筆すべき項目

- ・ 救命救急センターの機能強化のため、酒田地区医師会十全堂との連携により平日夜間救急外来の診療体制を確保した。
- ・ 酒田医療センターでは、理学療法士等の増員等により、休日を含めたりハビリテーションの提供体制の充実に努めた。
- ・ 日本海総合病院では、退院支援職員が在宅医療へ円滑に移行できるよう、退院調整業務等において積極的な支援を行っている。
- ・ 新しい専門医制度の開始に伴い、内科及び産婦人科の基幹施設として認定を受け、専攻医の採用について積極的に取り組んでいる。
- ・ 他の医療機関との役割分担及び連携を進めた結果、地域医療支援病院の指定要件となっている、紹介率・逆紹介率に係る目標値を大幅に上回っている。

- ・ 庄内二次医療圏全体で、効率的で適切な医療やケアを提供するため、地域医療情報ネットワーク等の ICT を活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化の推進に努めている。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理 由

診療体制の強化、人員配置の弾力的運用に努め、診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応するなど、収益の確保に努めている。

ウ 評価した項目

① 項目数

8項目 【評価 A：3、B：5】

② 特筆すべき項目

- ・ 地域連携室の勤務時間に遅番を設けるなど、人員配置を弾力的に運用することにより、患者ニーズへの対応に努めている。
- ・ 経営基盤の安定化に向けて設定した各目標値については、日本海総合病院では、1日当たりの入院患者数が目標値を僅かに下回ったが、他の目標については全て達成している。酒田医療センターでは、1日当たりの入院患者数及び病床利用率が目標値を下回ったが、他の目標は達成している。
- ・ 新たな施設基準(特定集中治療室管理料3、特定集中治療室管理料4)の取得により増収を図っている。

第3 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

日本海総合病院、酒田医療センター及び病院機構全体で、営業収支比率と経常収支比率の目標を達成している。

ウ 評価した項目

① 項目数

1項目 【評価 A：1】

② 特筆すべき項目

・病院機構全体で、経常収支比率104.3%となっている。

第4 短期借入金の限度額

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

短期借入金の実績なし。

ウ 評価した項目

① 項目数

1項目 【評価 S：1】

② 特筆すべき項目

・計画的な資金収支に努めており、短期借入金の必要がなかった。

第5 剰余金の使途

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

決算剰余金については、建設改良積立金に充当し将来の施設整備及び医療機器の整備に備えている。

ウ 評価した項目

① 項目数

1項目 【評価 S : 1】

② 特筆すべき項目

- ・ 病院施設の整備に充てるため建設改良積立金に充当している。

第6 料金に関する事項

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理 由

病院機構の規定に基づき料金徴収を行っている。

ウ 評価した項目

① 項目数

2項目 【評価 B : 2】

② 特筆すべき項目

- ・ 病院機構の規定に基づき適切に使用料を徴収している。

第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理 由

認定看護師や専門薬剤師等の資格保有者に対する適正な評価をするとともに、各種研修会の参加者への受講料等を負担するなど、職員のモチベーションの向上に努めている。

ウ 評価した項目

① 項目数

12項目 【評価 A：2、B：10】

② 特筆すべき項目

- ・ 職員一人ひとりがそれぞれの分野で専門知識や能力を十分に発揮できるよう多職種によるチーム医療の推進に努めるとともに医師、看護師、薬剤師等、多職種によるチーム医療を推進するため、新たに「がんセンターボード」を定期的開催している。

※がんセンターボード：手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師や、その他の専門医師及び医療スタッフ等が参集し、がん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等 するためのカンファレンス。

(4) 業務運営の改善その他の措置の必要性

な し

【別紙】

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成29年度業務実績に関する評価基準

1 平成29年度業務の実績に関する評価の基本方針

平成29年度地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構年度計画について、その業務の実績について自己評価を行う。

2 業務の実績に関する評価の方法

計画に掲げた項目ごとに行なう「項目別評価」と、業務実績全体の状況について行なう「全体評価」の2つを併せて行なうものとする。

(1) 項目別評価 項目別評価シート

項目別評価は、年度計画の個別項目毎の進捗状況について、下記により評価するものとする。

① 業務の実施状況を幅広く把握し、可能な限り客観的な評価の実施に努める。

- ・目標数値がある場合はその達成度合い、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握して評価する
- ・業務実績については、その数量だけでなく、その質についても考慮する
- ・業務実績に影響を及ぼした要因、予期せぬ事情の変化等についても考慮する

② 判定基準として以下の5段階で評価し、原則としてその理由を付記する

(判定基準)

「S」 : 計画を大幅に上回っている

「A」 : 計画を上回っている

「B」 : 計画に概ね合致している

「C」 : 計画をやや下回っている

「D」 : 計画を下回っており、大幅な改善が必要

(2) 全体評価

全体評価は、(1)の項目別評価の結果を踏まえ、全体的な計画の進行状況や達成について、記述式等により評価するものとする。

平成 29 年度業務実績に関する評価

(項目別評価シート)